

2013年2月期 決算説明資料



株式会社ジェイグループホールディングス (3063)

2013年4月24日

目次

1. 連結決算概要

連結業績概況	-----	4
連結損益計算書概要	-----	5
連結貸借対照表概要	-----	6
連結キャッシュ・フロー計算書概要	-----	7
セグメント別業績概況	-----	8
飲食事業の業態分析	-----	9

2. 2013年2月期トピックス

業界平均を超える対前年売上高比率	-----	11
FLコスト比率の推移	-----	12
注力業態「新九」の躍進	-----	13
「LUCENT Mariage Tower」の受注が好調	-----	14
既存店収益状況	-----	15
9店舗を新規出店（1店舗をリニューアル）	-----	16
店舗数の推移	-----	17
ホールディングス体制が開始	-----	18

3. 今後の方向性

売上高 200 円億へ向けた体制作り	-----	20
数値管理の徹底	-----	21
出店増加に必要な要素	-----	22
人材確保へ向けた取り組み	-----	23

4. 今期の取り組み

日本橋に過去最大級の文化情報発信型飲食店をオープン	-----	25
ブランディングプロデューサーの招聘	-----	26
新商品の開発	-----	27
今期の新規出店	-----	28
今期の業績見通し	-----	29
初配の実施	-----	30

1. 連結決算概要

連結業績概況

(百万円)

	2012年2月期 通期実績	2013年2月期 通期実績	前年同期比 (%)	2013年2月期 計画※	計画比 (%)
売上高	9,514	9,968	104.8	10,007	99.6
営業利益	219	68	31.2	110	62.3
経常利益	266	65	24.7	88	74.8
当期純利益	122	24	20.2	22	112.5

※2013年1月10日公表

売上高、当期純利益は、ほぼ計画値を達成

今後の出店増加へ向けた人材への先行投資と、料飲の品質向上による原価率の上昇により営業利益は減益となったが、料飲の質やサービスの向上により売上高は前年比で大幅に増加。

連結損益計算書概要

(百万円)

	2012年2月期 通期実績		2013年2月期 通期実績		前年同期比 (%)
		構成比 (%)		構成比 (%)	
売上高	9,514	100.0	9,968 ①	100.0	104.8
売上原価	2,862	30.1	3,060	30.7 ②	106.9
売上総利益	6,651	69.9	6,907	69.3	103.9
販売管理費	6,432	67.6	6,839	68.6	106.3
営業利益	219	2.3	68 ③	0.7	31.2
営業外収益	130	1.4	77	0.8	59.3
営業外費用	83	0.9	80	0.8	96.0
経常利益	266	2.8	65	0.7	24.7
特別利益	105	1.1	0	0.0	0.6
特別損失	64	0.7	7	0.1	11.2
税金等調整前当期純利益	307	3.2	59	0.6	19.2
当期純利益	122	1.3	24	0.2	20.2

①料飲・サービスの質の向上および新規店舗の貢献により、大幅な増収を達成。

②長期的な取り組みである顧客満足度向上のため、料飲の充実を図り飲食事業単独での原価率は26.7%となり前年同期比1.2ポイントの増加。

③中期計画へ向けた出店拡大のため人材獲得、教育への先行投資を行なった結果、減益となる。

連結貸借対照表概要

(百万円)

	2012年2月期 期末	2013年2月期 期末		2012年2月期 期末	2013年2月期 期末
【資産の部】			【負債の部】		
流動資産	960	1,066	流動負債	2,118	2,086
現金及び預金	423	426	買掛金	358	353
売掛金	257	297	短期借入金 <small>※一年内返済予定長期借入金との合計</small>	821	882
たな卸資産	60	68	その他	938	850
その他	218	274	固定負債	2,748	3,234
固定資産	5,477	5,880	長期借入金	2,442	2,958
有形固定資産	3,960	4,523	その他	306	276
建物及び構築物	2,593	2,877	負債合計	4,867	5,320
土地	1,131	1,364	【純資産の部】		
その他	236	281	株主資本	1,566	1,632
無形固定資産	31	33	資本金	748	769
投資その他の資産	1,484	1,323	資本剰余金	678	699
資産合計	6,437	6,947	利益剰余金	215	240
			自己株式	△76	△76
			その他の包括利益累計額	3	△5
			純資産合計	1,570	1,626
			負債純資産合計	6,437	6,947

連結キャッシュ・フロー計算書概要

(百万円)

	2012年2月期 通期実績	2013年2月期 通期実績	ポイント
営業活動によるキャッシュ・フロー	797	480	税金等調整前当期純利益 59百万円 減価償却費619百万円
投資活動によるキャッシュ・フロー	△122	△1,039	新規出店など有形固定資産の 取得1,218百万円 差入保証金の差入79百万円 差入保証金の回収240百万円
財務活動によるキャッシュ・フロー	△472	602	短期借入金の純減額104百万円 長期借入れ1,561百万円 長期借入金の返済879百万円
現金及び現金同等物の増減額	202	43	
現金及び現金同等物の期首残高	119	322	
現金及び現金同等物の期末残高	322	365	

セグメント別業績概況

(百万円)

		2012年2月期 通期実績 (参考※)	2013年2月期 通期実績	ポイント
飲食事業 居酒屋、レストラン等での 飲食サービスの提供	売上高	8,879	9,010	料飲、サービスの質の向上により 既存店、新規店舗ともに売上高は ほぼ計画通りに達成。 ホールディングス化に伴うセグメ ント調整の変更により利益が増加。
	営業利益	176	452	
ブライダル事業 挙式・披露宴サービスの提供	売上高	259	559	新規施設のオープンに伴い、 売上高は大幅に増加。 オープン費用の負担を吸収し、 通期では黒字化を達成。
	営業利益	△5	8	
不動産事業 不動産の賃貸・管理業務等	売上高	206	836	「ダイヤモンドウェイ」や 「G-SEVENS 刈谷」などのテナント 収入は引き続き堅調に推移。 ホールディングス化に伴い、グルー プ会社間の取引高が増加。
	営業利益	12	64	
その他の事業 広告代理業、卸売業等	売上高	605	960	子会社ジェイトレードの取扱高は 引き続き順調に増加し、増収・増益 を達成。
	営業利益	24	45	
調整額	売上高	△435	△1,398	ホールディングス化に伴い、 セグメント間の調整額が変更。
	営業利益	10	△502	
連結財務諸表 計上額	売上高	9,514	9,968	
	営業利益	219	68	

※2012年9月3日付で持株会社体制へ移行したことに伴い、管理区分が異なることから、前年同期比は記載していません

飲食事業の業態分析

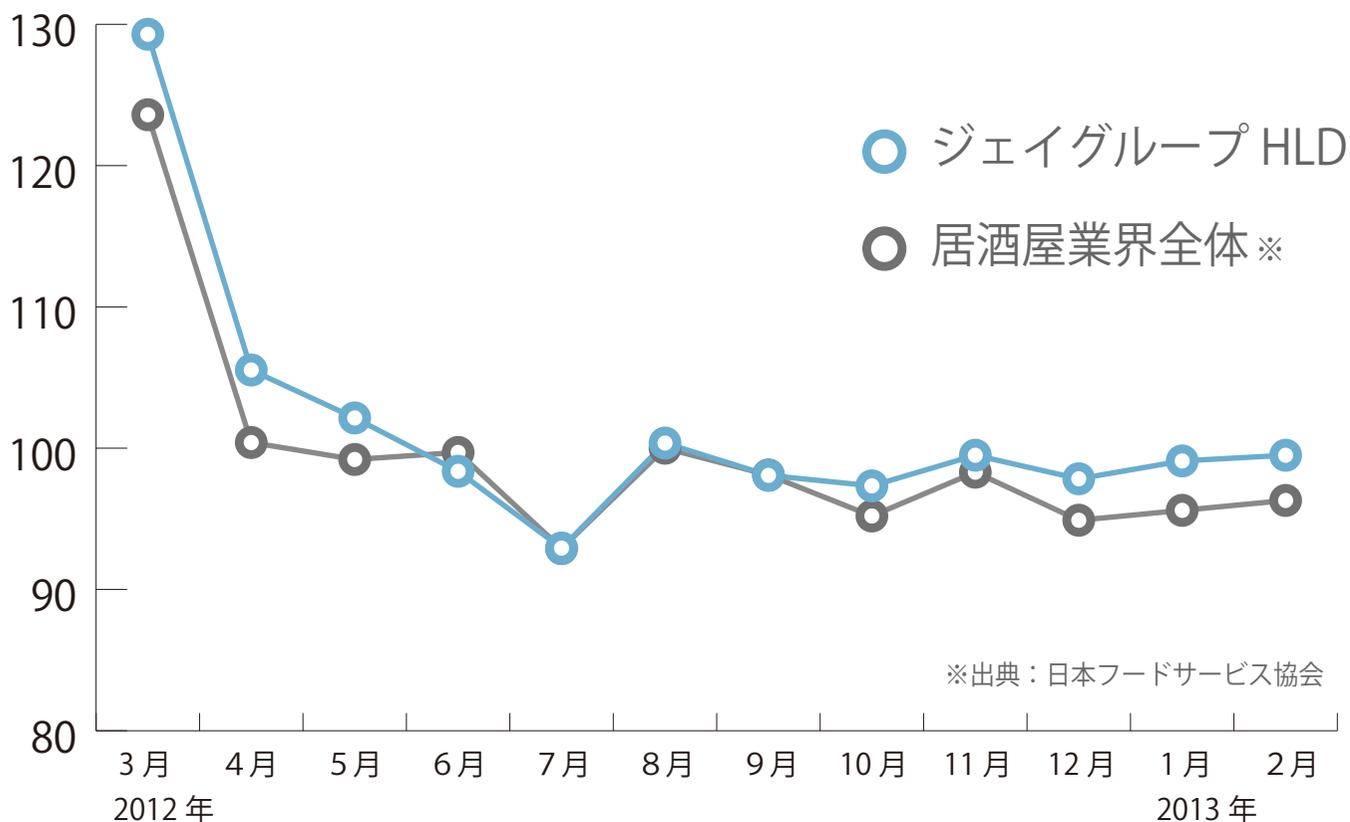
(百万円)

業態区分		2012年2月期 通期実績	2013年2月期 通期実績
居酒屋業態	売上高	6,523	6,883
	営業利益 (本部経費配賦前)	955	891
レストラン業態	売上高	979	1,032
	営業利益 (本部経費配賦前)	△6	15
SC 業態	売上高	970	813
	営業利益 (本部経費配賦前)	92	38

2. 2013年2月期トピックス

業界平均を超える対前年売上高比率

対前年売上高比率の比較



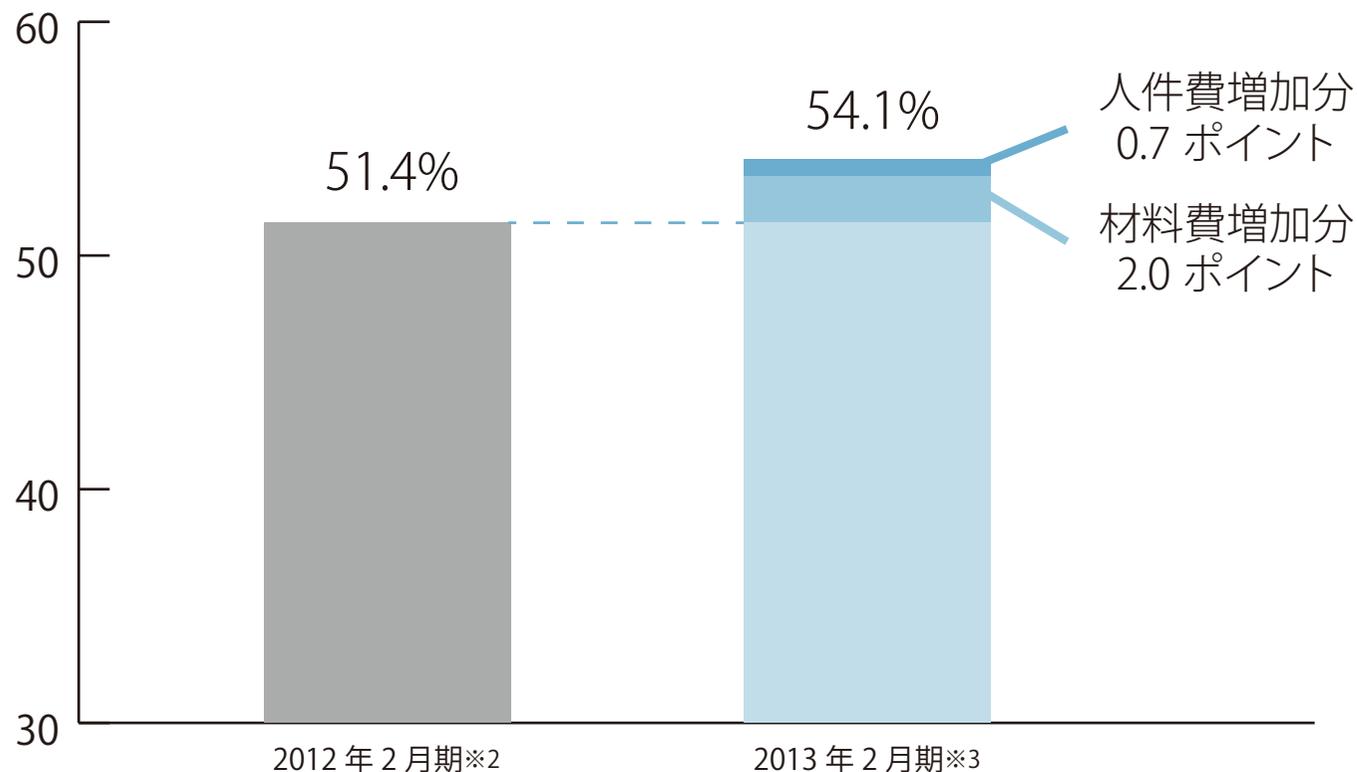
品質・サービスの向上により売上高を確保

第2四半期より始めた、「料飲の品質向上、接客サービスの向上」への取り組みにより、期の後半では既存店の対前年売上高比率は業界平均を超えて推移し、売上高の確保へ貢献。

FL コスト比率※1 の推移

※1 Food (材料費)+Labor (人件費) の売上高に占める比率

GM 制度導入店舗の FL コスト比率



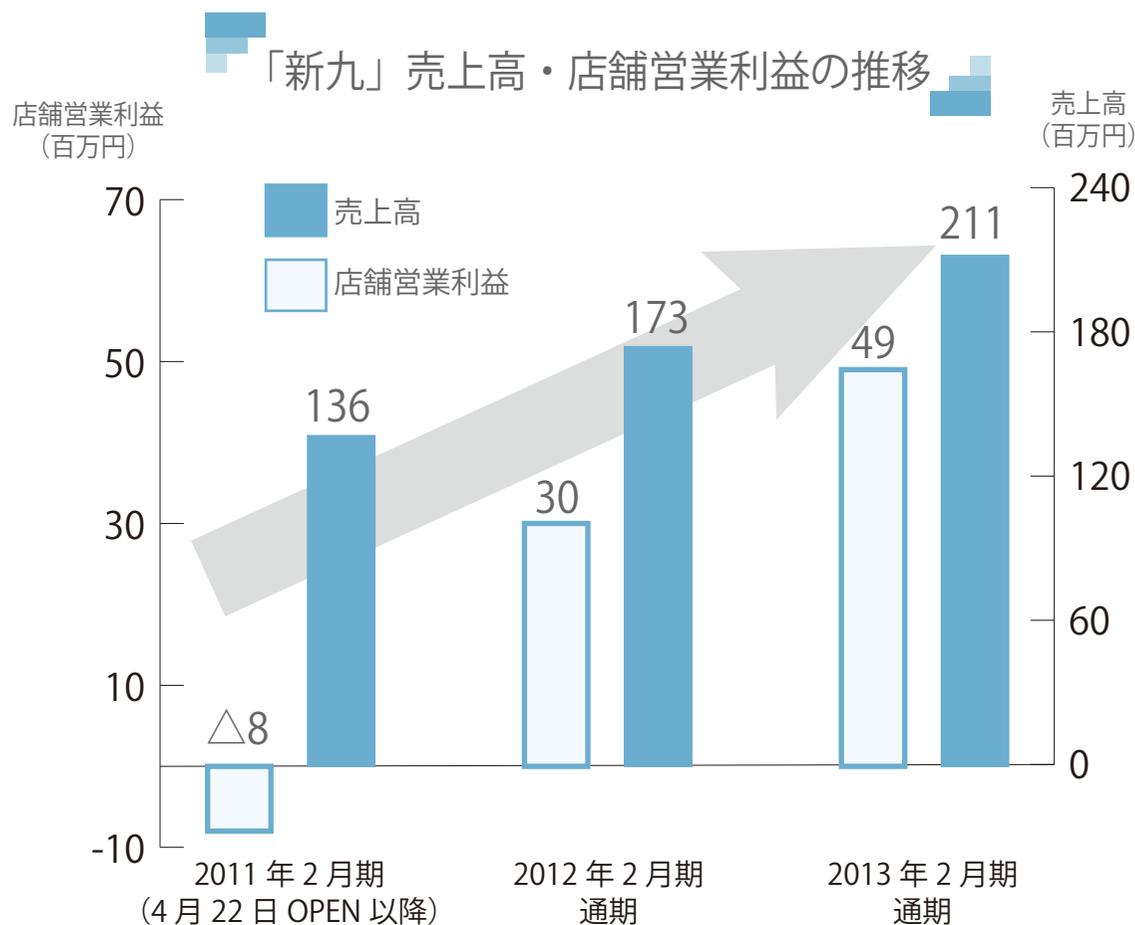
先行投資と品質・サービス強化により FL コストは上昇

将来的な出店増加へ向けた人材確保のため、先行投資を行い早期採用・早期戦力化を推進し人件費は増加。
材料費の増加については、料飲品質の向上が主な要因。

※2 新規店舗・リニューアル・被災地店舗を除き、前期と比較が可能な店舗を集計

※3 新規店舗・リニューアルを除き、前期と比較が可能な店舗を集計

注力業態「新九」の躍進



対前年売上高比率 (通期) : 121.6%

対前年店舗営業利益率 (通期) : 164.4%

「芋蔵」、「ほっこり」に次ぐ第3の柱として「新九」を確立

2010年4月のオープン以降、業態の細かな調整を繰り返し、今期に大きく躍進。魅力的な立地に対して、自社競合の観点から出店を控えていた場所への出店が可能となり、2月に「新九名駅店」をリニューアルオープン。

「LUCENT Mariage Tower」の受注が好調

今夏新規にオープンしたブライダル施設「LUCENT Mariage Tower」



最上階 40 階スカイチャペル



最上階 40 階バンケット

営業活動は好調に推移し、黒字化を達成

名古屋 No.1 の高さをほこるチャペルなど、眺望を活かしたプロモーション活動を行い、オープン後の来客・受注共に好調に推移。今期もすでにオープン年の 2.5 倍の組数を受注し、本格的な利益貢献を予定。

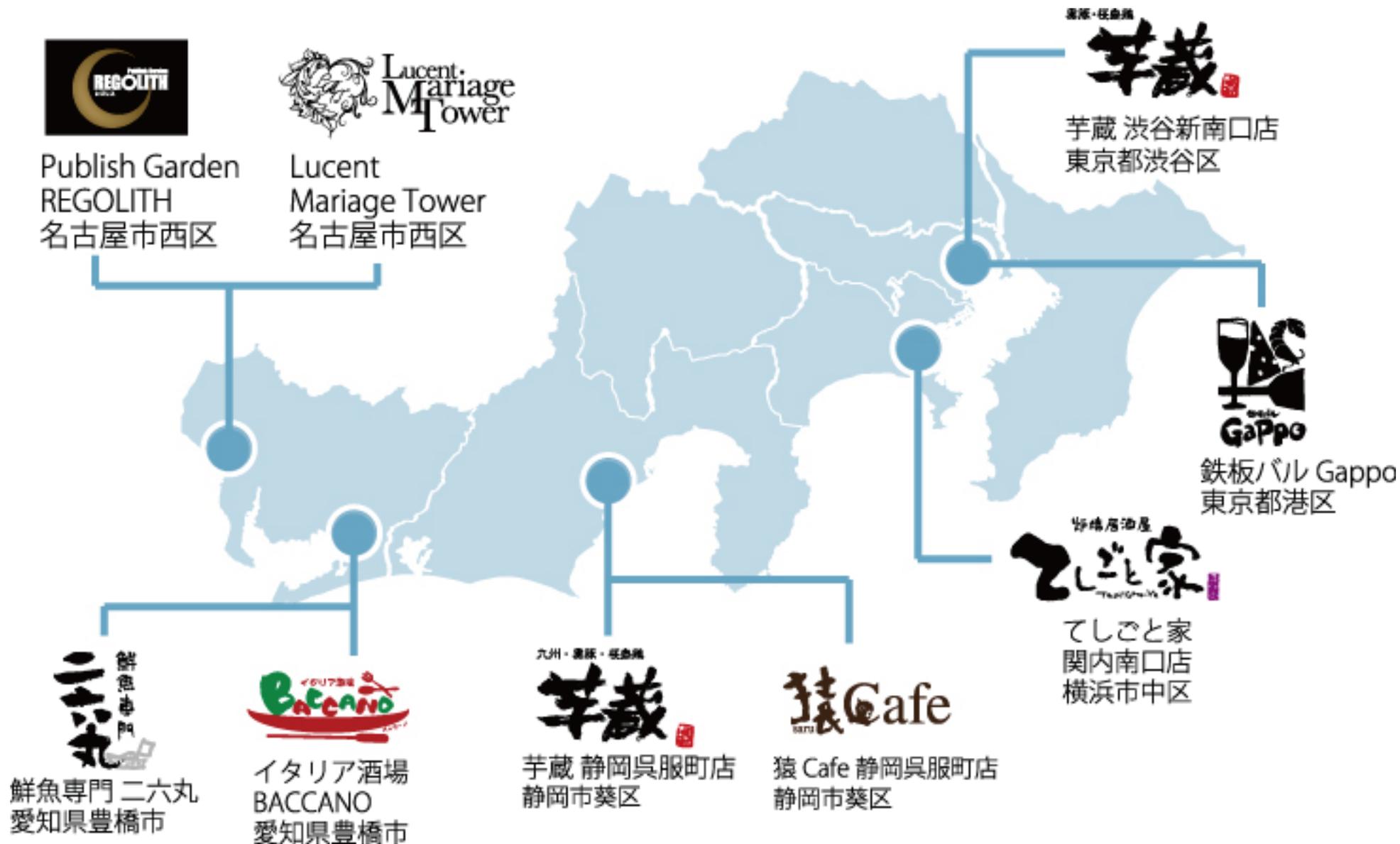
既存店収益状況



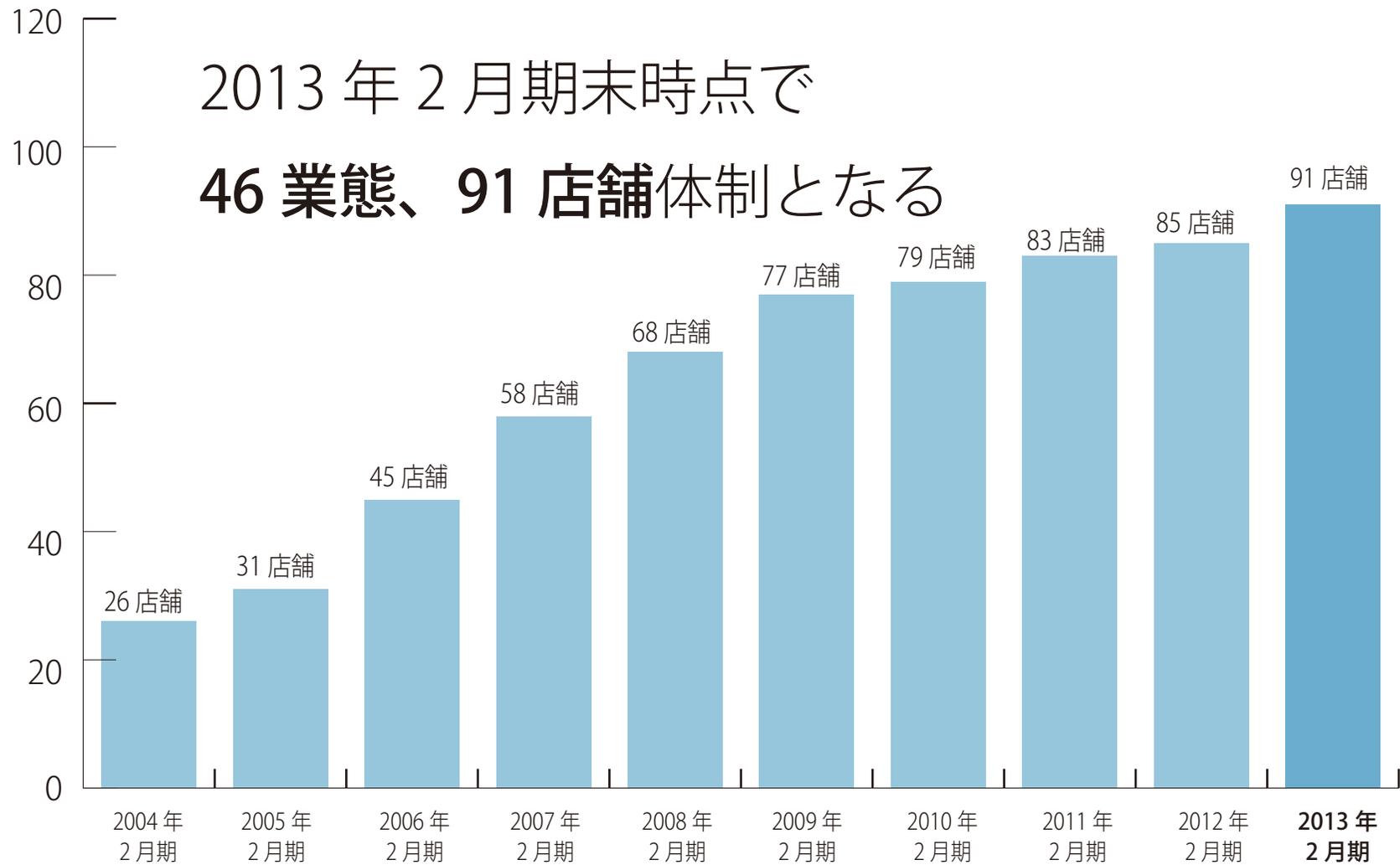
		2012年										2013年		2013年2月期実績
		3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
居酒屋業態	売上高前年同月比	128.9%	101.3%	101.2%	97.9%	94.5%	98.6%	97.5%	98.0%	99.6%	97.5%	98.5%	97.8%	100.4%
	来店客数前年同月比	123.2%	99.6%	100.0%	97.6%	97.1%	99.1%	98.7%	99.6%	101.0%	98.5%	99.2%	99.4%	100.7%
	客単価前年同月比	104.6%	101.7%	101.2%	100.3%	97.2%	99.5%	98.8%	98.4%	98.5%	99.0%	99.3%	98.4%	99.7%
レストラン業態	売上高前年同月比	166.1%	164.4%	115.6%	97.7%	84.4%	112.5%	102.6%	99.1%	98.7%	96.6%	100.1%	111.4%	107.7%
	来店客数前年同月比	192.0%	224.5%	108.2%	92.7%	86.2%	108.7%	103.0%	104.6%	101.4%	99.2%	95.7%	111.7%	110.0%
	客単価前年同月比	86.5%	73.2%	106.8%	105.5%	97.9%	103.4%	99.6%	94.8%	97.3%	97.3%	104.6%	99.8%	97.9%
SC業態	売上高前年同月比	106.1%	99.0%	95.5%	102.7%	92.4%	98.9%	97.0%	89.9%	100.1%	103.0%	102.3%	100.3%	98.9%
	来店客数前年同月比	97.6%	90.6%	86.1%	99.3%	89.7%	96.3%	96.0%	88.3%	97.9%	103.4%	102.7%	100.9%	95.4%
	客単価前年同月比	108.7%	109.3%	110.9%	103.5%	103.0%	102.7%	101.1%	101.9%	102.3%	99.6%	99.6%	99.4%	103.6%

※既存店基準：開店日より24ヶ月を経過した店舗を対象としております。

9 店舗を新規出店（1 店舗をリニューアル）



店舗数の推移



ホールディングス体制が開始



(株) ジェイグループホールディングス

グループ経営管理・不動産事業

飲食事業

(株) ジエイプロジェクト



(株) デイアジエイ



NEW FIELD HONOLULU, INC.



ブライダル事業

(株) ジエイブライダル



(株) ジエイトレード



その他の事業

仕入・卸

広告制作

人材関連

(株) ジエイメディアックス



(株) ジエイキャスト



3. 今後の方向性

売上高 200 億円へ向けた体制作り



ジェイグループホールディングス

M&A、新規事業、不動産事業などの拡大へ向けて様々な情報収集を開始
グループ各社への数値管理を徹底し、売上高・利益の順調な成長を支援



ジェイプロジェクト (ディアジェイ、NEW FIELD HONOLULU)

年間 12 億円の売上高増加へ向けて、平均 12 店舗の純増を実現



ジェイブライダル

「LUCENT Mariage Tower」の新規オープン、既存施設と共に安定運営を実現
将来的な新規施設のオープンへ向けて、情報を収集。



ジェイトレード (ジェイメディックス、ジェイキャスト)

ジェイトレードは飲食売上高拡大に対応するため、物流・加工センターを新設
ジェイメディックス、ジェイキャストは独立採算へ向けた営業体制の整備

数値管理の徹底

ジェイプロジェクト利益率改善根拠
(第2四半期説明会資料より)

売上高が増加しても
店舗営業利益率約 15% に変化はなし



売上高が 60 億円増加すると本部経費
配布前営業利益は約 9 億増加



本部体制の強化は軽微となるので
増加分 9 億の大部分が利益となる

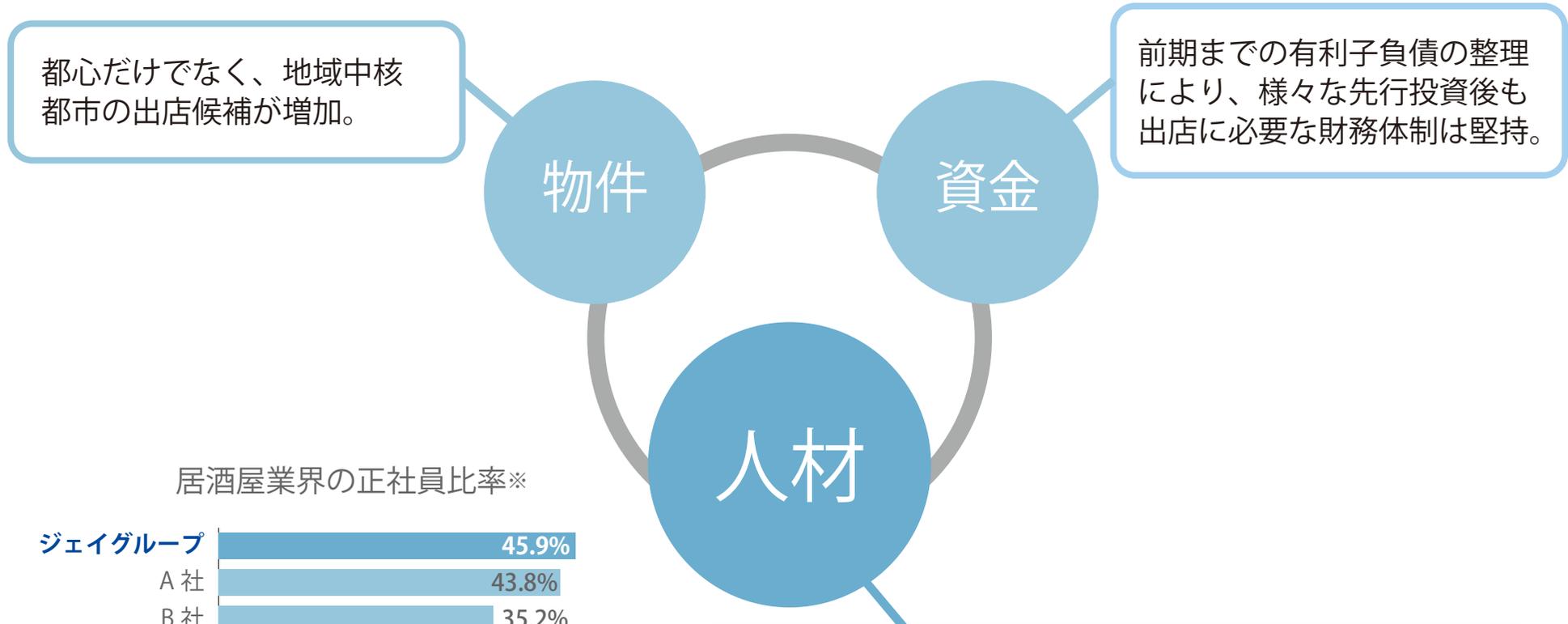
2013 年 2 月期実績

人材への先行投資、料飲の品質向上の
ために、GM 店舗の店舗営業利益率※は
14.6%へ若干低下

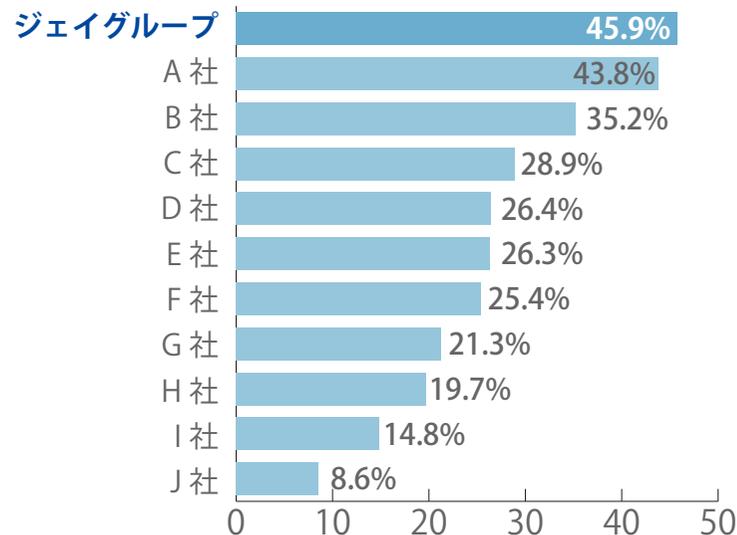
ジェイグループ HLD が数値管理を
徹底し、先行投資を行いながら
店舗営業利益率 15% を実現する

※ 新規店舗・リニューアルを除き、前期と比較が可能な店舗を集計

出店増加に必要な要素



居酒屋業界の正社員比率※



今後の飲食業界で最も重要なのは人材

正社員比率が高く、高いレベルの接客サービスを提供できるジェイグループの強みを活かすためには、優秀な人材が不可欠。

採用における競争は激しくなっており、より魅力的な企業として体制を整え、知名度を高めることが重要。

※各社有報等より主に飲食事業に携わる正社員数、臨時従業員数から計算

人材確保へ向けた取り組み

1

新卒採用数の大幅増加

2014年春入社の新卒の
人数を今期の40名から
2.5倍の100名へ大幅に増加

2

説明会の拡大

説明会の開催回数、および
開催場所を大幅に増加し
柔軟な採用体制を構築

3

社員寮の整備

地方の優秀な人材の獲得の
ために、社員寮を整備し
より働きやすい環境を提供

優秀な人材の確保を最優先に先行投資を実施

新卒・中途採用ともに優秀な人材を確保するため、就職説明会の開催増加、社員寮の整備などに先行投資。
秋入社への導入などの魅力的な人事制度の構築に取り組み、今後の出店数のさらなる増加へ向けて、人材確保への投資は継続的に実施。

4. 今期の取り組み

日本橋に過去最大級の文化情報発信型飲食店をオープン



店舗名 日本橋室町 ほうねんまんぶく 豊年萬福
所在地 東京都中央区日本橋室町 1-8-6
坪数 約 111.8 坪（店舗面積）
席数 約 220 席
オープン 2013 年 5 月 9 日予定



三井不動産株式会社が推し進める「日本橋再生計画」の一環として「日本橋室町 豊年萬福」をオープン。外観は白漆喰の蔵造り風の建物で、川沿いにはテラス席も配置し、日本橋の歴史と風格に相応しい店舗作りを行います。

日本の食文化の発信基地として、展示スペースや物販スペースを併設し、各地から集められた名品を紹介・販売し、店舗メニューにも取り入れます。

ブランディングプロデューサーの招聘

おちまさと氏が執行役員ブランディングプロデューサーに就任



ジェイグループの今後のブランディング及び知名度の向上を図るため、おちまさと氏が執行役員ブランディングプロデューサーに就任。おちまさと氏プロデュース業態の第1弾として、パンケーキ Cafe 「88 huit huit (ユイトユイト)」をオープン予定。

プロフィール

1965年東京都生まれ。プロデューサー。数多くのヒット番組やWEBサイトの企画、ファッション、企業ブランディングまでジャンルを越えて活躍。「対談の名手」として雑誌や書籍のインタビュアーを務めることが多く、またブログやツイッターが高いアクセス数を誇り、情報キュレーターとしても信頼度が高い。企業・学校などでの講演活動も展開。厚生労働省イクメンプロジェクトメンバー、経済産業省「クール・ジャパン戦略推進事業・企業マッチンググランプリ」総合プロデュースも務める。

パンケーキ Cafe 「88 huit huit (ユイトユイト)」



おちまさと氏がプロデュースした Cafe ブック「越智千恵子のパンケーキ Cafe」に掲載されている空想のカフェ「88 huit huit」を実際の店舗として出店。

株式会社ジェイエイトの設立

名称： 株式会社ジェイエイト
所在地： 名古屋市中区栄三丁目4番28号
代表者： 代表取締役 木村直人
設立年月日：平成25年5月8日

「88 huit huit」の展開、およびブランド構築を迅速に進めるために、子会社を設立。

新商品の開発

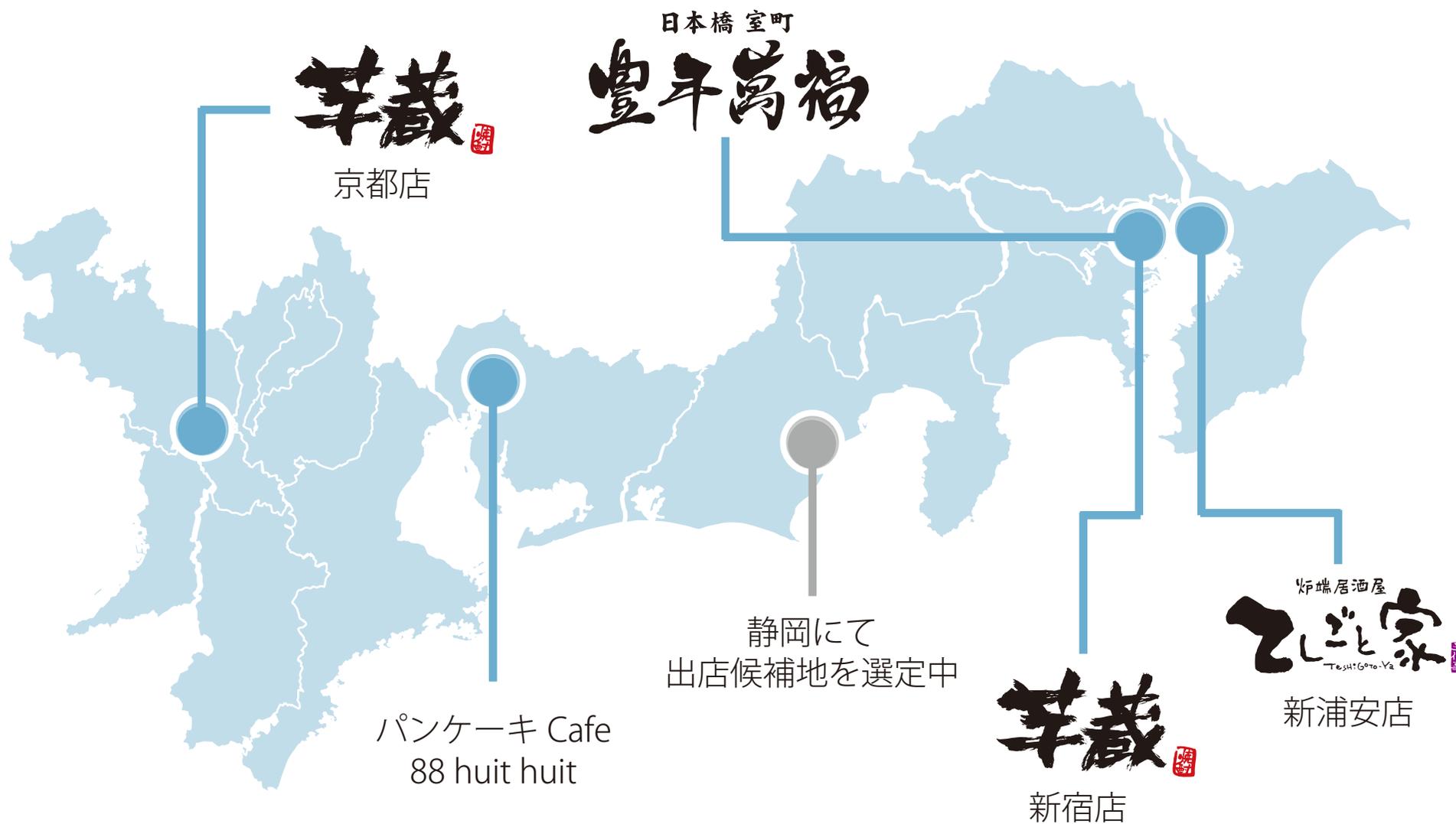
株式会社 CLUB ANTIQUE とコラボレーション商品を開発



女性客を意識した
デザート開発からスタート

マジカルチョコリングで有名な株式会社 CLUB ANTIQUE とコラボレーションした新商品を開発。まずは、芋蔵で提供するデザートメニューから始まり、今後は株式会社 CLUB ANTIQUE が強みとするパンを使用した様々なメニューを開発予定。

今期の新規出店



今期の業績見通し

(百万円)

	2013年2月期 通期実績	2014年2月期 業績予想	前年同期比 (%)
売上高	9,968	11,000	110.3
営業利益	68	225	328.6
経常利益	65	180	273.6
当期純利益	24	74	299.0

初配の実施

配当の状況

	2013年2月期	2014年2月期（予定）
中間配当	0円	500円
期末配当	500円	500円
合計	500円	1,000円

株主還元の強化へ向けて初配を実施

株主の皆さまからご好評を頂いている株主優待に加えて、さらなる株主還元の強化のために配当の実施を決定。今後も、安定的・継続的な配当の実施により、株主の皆さまへの利益還元を進めてまいります。

【IRに関するお問い合わせ先】
株式会社ジェイグループホールディングス
経営戦略部 広報IR課
TEL：052-243-0026

当資料は株式会社ジェイグループホールディングスが作成したものであり内容に関する一切の権利は当社に帰属しています。
複写及び無断転載はご遠慮下さい。当資料は当社が現在発行している、また将来発行する株式や
債券等の保有を推奨することを目的に作成したものではありません。
また、当資料は当社が信頼できると判断した情報を参考に作成していますが当社がその正確性を保証するものではなく、
事業計画数値に関しても今後変更される可能性があることをご了解下さい。